

APP 環境新聞

発行日 2022年9月15日

発行者 エイピーピー・ジャパン株式会社



APPは持続可能な開発目標 (SDGs)を支援しています。



ベランターラ基金によるスマトラゾウ保護プロジェクト

森の再生プロジェクト ~いっしょにSDGsに取り組もう!~ ベランターラ環境保護基金 ドリー事務局長に聞く

エイピーピー・ジャパン株式会社 (APPジャパン) は、売上の一部をベランターラ環境保護基金 (ベランターラ基金) に寄付してインドネシアの森を再生する「森の再生プロジェクト~いっしょにSDGsに取り組もう!~」を推進しています。

今年8月、ベランターラ基金のドリー事務局長にオンライン・インタビューを行い、これまでの活動を振り返るとともに、今後の展開を伺いました。インタビューの内容は、号外として別紙にまとめましたので、こちらからご参照ください。 <https://bit.ly/3BhXcWN>



インタビューの様子

経団連自然保護基金の支援プロジェクトに選定 ベランターラ基金の南スマトラにおけるプロジェクト

公益信託経団連自然保護基金は、自然環境保護に繋がる国内外のプロジェクトを毎年選定し、支援しています。2022年度に支援を行う56プロジェクトのひとつに、ベランターラ基金の活動が初めて選ばれました。

南スマトラ州のパダン・スギハン野生生物保護区では森林が減少し、餌を求めてスマトラゾウが畑を荒らしたり村を襲ったりする接触事故が起きていますが、この活動は、コミュニティグループの能力開発など、人に焦点を当てたプログラムを実施するものです。

日本の皆さまにインドネシアについての理解を深めていただけるよう、私たちは今後もベランターラ基金が行う地域の実情に則した持続可能な活動を発信してまいります。

サステナビリティ報告書 2021を公開しました

APPシナルマス(以下APP)がサステナビリティ報告書2021を公開いたしました。

2021年度に行ったAPPグループ各工場の取り組みや、持続可能性ロードマップ・ビジョン2030の3つの柱である生産・森林・人々のカテゴリーに焦点を当て、進捗状況をまとめています。

以下のリンクよりご覧ください(英語/インドネシア語)。

<http://www.app-j.com/topics/1755.html>



第11回ステークホルダー・アドバイザリー・フォーラム開催

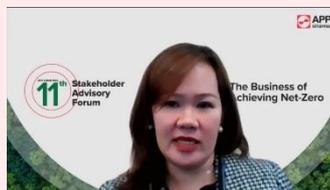
2022年6月23日、APPが主催する第11回ステークホルダー・アドバイザリー・フォーラム(SAF)がオンライン開催され、200人以上が視聴しました。

持続可能性担当役員のエリム・スタリバは「Eコマースやデリバリー、テイクアウトの増加により、汎用性が高く、安全で耐久性のある紙器や、プラスチックを使わない包装材のニーズが高まっている」と述べるとともに、APPが実践する持続可能な森林管理、環境ガバナンス、カーボンガバナンスは、インドネシア政府のビジョンを支援するものであると強調しました。

APPの取り組みの報告として、カーボン/温室効果ガスの排出削減と森による吸収作用の保全と強化の必要性、ネットゼロ目標/大気中に排出される温室効果ガスと除去される温室効果ガスが同量でバランスが取れている状況、持続可能性ロードマップ・ビジョン2030に対する進捗状況、の各テーマを取り上げると共に、ゲストスピーカーであるランドスケープ・インドネシア代表、アグース・サリ氏よりネットゼロに向けた世界の動きが伝えられました。

詳細はこちらをご参照ください。(英語)

<https://asiapulp.com/-/app-sinar-mas-shows-sustainability-commitment-through-the-saf-2022>



SAFで発表を行うエリム

エコプロに出展します 2013年から10年連続

APPジャパンとユニバーサル・ペーパー株式会社(UP)は、2022年12月7日(水)~9日(金)に東京ビッグサイトで開催されるエコプロ展に今年も出展いたします。

2013年から毎年参加して今年で10年目。楽しみながら学べる展示をお届けできるよう、スタッフ一同、たぐいまれな思いを絞っています!



JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2022 開催

2022年8月25日(木)～27日(土)、住生活に関する日本最大級の展示会「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW」が幕張メッセで開催され、APPジャパン/UPがインドネシア・パピリオンの一部として参加しました。

初日の25日にはインドネシア・パピリオンでオープニングセレモニーが行われ、華やかなインドネシア伝統舞踊が披露されたほか、インドネシア共和国大使館よりDCM株式会社様に感謝状が贈呈されました。

DCM株式会社様はAPPジャパン/UPの森の再生プロジェクトに賛同し、製品パッケージ上で同プロジェクトを説明して店頭でPOPを設置するなど、対象製品の販売促進に尽力されています。

そのため、インドネシア共和国大使館の商務部から「インドネシア製品の販売促進へのご貢献」について、また、環境・林業部から「森林減少の問題を抱えるインドネシアにおける森林再生に向けたご支援」について、謝意を伝える感謝状が贈呈されました。



写真 左から順に
インドネシア共和国大使館 メディアと社会・文化部
参事官 メイナルティ・ファウジ様
インドネシア共和国大使館 商務部長 アリフ・ウイビソノ様
在大阪インドネシア共和国総領事館 インドネシア貿易振興センター
所長 RM ディッキー・ファラビ様
DCM株式会社 代表取締役社長 石黒靖規様

今年も高校生国際ESDシンポジウム (SDGs Global Engagement Conference) が開催されます

2019年から毎年分科会の講師をさせていただいている「高校生国際ESDシンポジウム」に、本年度も参加します。

このシンポジウムは高校生がSDGsの視点から今後の社会のあり方を考えたり、各自の研究テーマについて発表を行うもので、これまでに筑波大学附属坂戸高校(筑坂高校)を中心とする日本各地の高校生と当社製品について意見交換をしたり、製品のパッケージデザインで協業する機会がありました。

本年度は、グローバルパスポート授業の一環として、インドネシアのボゴール農科大学附属コルニタ高校、インドネシア環境林業省附属林業高校と筑坂高校による交流と企業研究を9月から開始し、10月には授業で当社山崎とベランタラ環境保護基金のドリー事務局長が参加して意見交換をします。その後、11月12日のシンポジウム当日には生徒の皆さんによる成果発表が予定されています。どのような議論が巻き起こるのか、今から期待が膨らみます。



昨年のオンラインで開催された時の様子

Ecovadis 社より Advanced 評価を獲得

APPは、2022年8月に企業のサステナビリティ評価を手掛ける業界大手のEcovadis社(本社フランス)より、最上位から2番目である”Advanced”評価を獲得しました。

環境、労働と人権、倫理、持続可能な資材調達などの4分野にわたる包括的な評価が行われ、特に環境分野では、最高ランクの評価を受けました。

<http://www.app-j.com/topics/1763.html>

ワールド・ファイナンス誌より表彰

APPは国際経済紙『ワールド・ファイナンス誌』2022年夏号において、紙パルプ産業で最も持続可能な企業として年間ワールド・ファイナンス・サステナビリティ賞を受賞しました。

持続可能性ロードマップ・ビジョン2030や森林保護方針などのサステナビリティ戦略に加え、そうした戦略を実施するにあたり、人工衛星による森林監視技術を導入した積極的な投資姿勢が評価されました。



<http://www.app-j.com/topics/1745.html>

Japan Forestry Investment Dialogues 2022 に参加

8月1～5日、森林保全活動や林産品の対日輸出振興について意見交換する目的でインドネシア大使館が開催したJapan Forestry Investment Dialoguesに参加しました。

インドネシア本国からは林産業担当者や国会議員、日本からは関連企業や研究者が招かれたなか、APPジャパンとUPは合同で製品と森の再生プロジェクトについて発表や展示を行い、参加者の方々にご覧いただきました。



森の再生プロジェクト 参加方法

1. 「森の再生プロジェクト」対象紙製品を購入する
2. 個人・法人等で寄付をお考えの方

→ APPジャパンにご連絡ください (sustainability@appj.co.jp)

APP 環境新聞バックナンバー

こちらよりご覧いただけます

<http://www.app-j.com/topics/1673.html>